

## 平成30年度 し尿処理施設のセシウム測定結果について

採取日	CS-134	CS-137	合計	基準値	結果	測定機関
H30.4.13	不検出(10.9)	不検出(10.7)	不検出	200	適	株式会社環境管理センター 北関東技術センター
H30.5.9	不検出(10.5)	不検出(11.6)	不検出	200	適	
H30.6.13	不検出(9.82)	10.7	10.7	200	適	
H30.7.11	不検出(10.1)	不検出(13.5)	不検出	200	適	
H30.8.8	不検出(11.7)	不検出(12.5)	不検出	200	適	
H30.9.12	不検出(12.1)	不検出(12.6)	不検出	200	適	
H30.10.10	不検出(7.67)	不検出(10.1)	不検出	200	適	
H30.11.14	不検出(11.2)	11.2	11.2	200	適	
H30.12.12	不検出(12.0)	不検出(11.9)	不検出	200	適	
H31.1.9	不検出(13.0)	不検出(11.8)	不検出	200	適	
H31.2.13	不検出(11.3)	不検出(13.2)	不検出	200	適	
H31.3.13	不検出(11.1)	不検出(11.9)	不検出	200	適	

※不検出とは、検出下限値未満を表します。( )内は検出下限値を表します。なお、検出下限値とは、その機器で検出できる最小の量(値)のことで、測定上では個々の検体の重量・密度・性状・形状・測定時間によって異なります。

※単位: Bq/kg

※測定方法: ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトル測定

農林水産省「汚泥肥料中に含まれる放射性セシウムの取扱いについて」(平成23年6月24日付け消費・安全局長通知)に基づき実施しています。基準値はセシウム134と137の合計が200Bq/kg以下であり、それを満足することで肥料原料として流通可能となります。川口市では、脱水汚泥を肥料原料として民間肥料会社へ搬出していることから分析を実施しています。